

飛騨・美濃歌舞伎大会いびがわ2006

五月三日（水）、久瀬公正公民館、揖斐川町中央公民館を会場に第十四回飛騨・美濃歌舞伎大会いびがわ2006が行われました。

開会を前に「三倉の太鼓踊り」の力強い舞が大会の開会に花を添えました。久瀬公正公民館の舞台では、乙原歌舞伎保存会による『一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段』が上演されました。

乙原歌舞伎は三年に一度、地元の方々により上演され、待ちわびた多くの観客はその舞台に見入っていました。揖斐川町中央公民館では、稚児役者の練り込みのあと、宗宮町長による口上が行われました。その後、今年の揖斐祭りで行われる子供歌舞伎の特別披露が行われ、下町の子どもたちにより、『鎌倉三代記 三浦別れの段』が上演されました。中央公民館では、会場に棧敷席が設けられ、より本格的な雰囲気の中で、小さな役者たちの熱演が練り広げられました。



三倉の太鼓踊り



宗宮町長による口上



子供歌舞伎の披露



乙原歌舞伎保存会による歌舞伎の披露

北方おどりの披露

四月二十日（木）に北方神社で北方おどりが披露されました。北方おどりは古くから雨乞い踊りとして伝えられてきたものを平成五年に復活させ、今年で十四回目になるそうです。

北方小学校六年の児童が、赤や黄色の飾りをつけた「シナイ」を背負い、太鼓を抱え見事に踊りました。そのあと、きたがた幼稚園の五歳児によるかわいい踊りも行われました。子どもたちにより地域の伝統文化が伝えられています。

鎌倉踊を披露

四月二十九日（土）に岐阜県重要無形文化財にも指定されている鎌倉踊が東津波の白髭神社で披露されました。訪れた観客は、この勇壮な踊りに見入っていました。

昨年度の久瀬小学校の発表会では、四年生全員が鎌倉踊に挑戦しました。祭礼ではその成果が十分発揮され、ザイを振るかわいい子どもたちの姿が見られました。子どもの数は少なくなっていますが、このように地域が一体となって伝統文化を後世に伝えたいものです。



鎌倉踊の伝統が伝えられています



北方おどりの伝統が小学生、幼稚園児に受け継がれます

粕川ふれあい朝市四周年記念イベント

五月七日（日）、怪永の粕川ふれあい市場で四周年記念の餅つきが行われました。

雨天にも関わらず、家族連れが立ち寄り餅つきを体験しました。つきあがったお餅には、町特産の抹茶ときなこをまぶし振舞われました。抹茶のお餅は鮮やかな緑色で、ほんのり苦味を残し、存在感が出ていました。

この市場は、毎週日・木曜の午前中に開催されており、山菜や季節の農産物が楽しめます。

坂内道の駅イベント

五月三日（水）、道の駅「夜叉ヶ池の里さかうち」で記念イベントが開催されました。

当日は朝市も同時に開催され、地元食材や料理、坂内地区の特産品が販売されました。また、紙漉きやわら細工など地元の技の体験コーナーが設けられ、訪れた観光客でにぎわっていました。

坂内朝市は第一日曜日に道の駅で開催されます。



餅つき体験

三倉特産品加工・文化伝承施設完成

揖斐川町三倉特産品加工・文化伝承施設が完成し、五月三日（水）に竣工式が行われました。

この施設は、元気な地域づくり交付金事業として、三倉地区に伝わる「三倉の太鼓踊り」（県重要無形民俗文化財）の保存活動や地域資源を活かした特産品づくりを行うために整備されました。

当日は、三倉の太鼓踊りの披露があり、続いてテープカットと式典が行われました。

谷汲山門前さくら灯路好評

四月五日から四月十六日の午後七時から九時までの間、谷汲山門前の約五十軒の店舗が軒を並べる参道の両側に七百基の竹製の灯籠が点灯しました。

この企画は谷汲山門前街並づくり委員会（今村博正代表 委員数四十名）により今年度初めて行われました。

竹をくりぬいて作った灯籠に点つたろうそくの灯は、咲き誇る桜と門前の街並を幻想的に彩りました。昼間とは趣を異にした「さくらのトンネル」に多くの夜桜見物の方々が訪れました。



竹製の灯籠が町並を照らす



三倉の太鼓踊りで完成を祝う

人権擁護委員を委嘱

このほど、人権擁護委員に大西良和さん（三輪）と宮川登美子さん（東横山）が就任され、四月十三日（木）に役場で法務大臣からの委嘱状の伝達が行われました。

人権擁護委員とは、多様化する地域の中で基本的人権が侵害されないよう絶えず見守り、侵害があった場合にはその相談相手となり、適切な処置を講ずることにより救済を図り、また人権思想の普及高揚に努めている法務大臣より委嘱された方々です。今後のご活躍をご期待します。

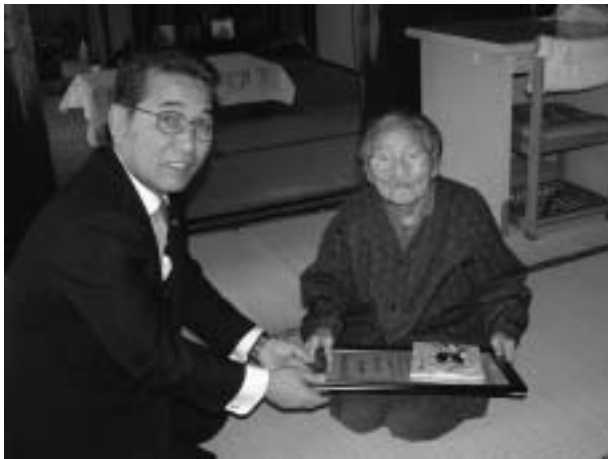
長寿を祝うお祝い

四月十八日（火）に西津波の高橋をかとさんが、四月二十五日（火）に谷汲名礼の河路スミ子さんが九十五歳の誕生日を迎えられました。

高橋さんはこれまで大きな病気もされたことがなくお元気だそうです。六十三歳から八十四歳まで新聞配達をされ、よく歩いたことが健康に良かったと話されました。

河路さんは現在は歌われませんが、昔から歌が好きで賛美歌などをよく口ずさんでいたそうです。

高橋さん、河路さんには長寿のお祝いと褒賞金が贈られました。これからもお元気で長生きしてください。



大西さん、宮川さんお願いします

「岐阜ふるさとくらしの大使」に登録

アグリエンジニアネットワーク岐阜では、活動で培ってきた「農業および生活技術」において優れた技術を持つ会員を「岐阜くらしの大使」として登録し、その技術や知識を活用して農業、農村の文化や魅力ある暮らし方を広く紹介しています。

四月二十五日（火）、谷汲の田代すみ子さん（味噌・らっきょう加工技術）、久瀬の矢野み江さん（味噌・味噌だれ加工技術）の二名が、今年度新たに「岐阜くらしの大使」に登録されました。揖斐川町では、すでに登録されている春日の坂東美恵子さん（葉草染め・こんにゃく加工技術）を含め、くらしの大使は三名になります。今後、地域での食育推進や地域農産物活用の講習会に講師としての活躍が期待されます。

春日消防団はこんな活動もしています

揖斐川町春日消防団では、幹部研修の一貫として、いつ起きるかわからない災害に備えて、四月三十日（日）に春日管内の林道、作業道、谷などの状況を確認しました。特に今年は、年々増加する伊吹山から国見峠への北尾根登山道を中心に実施し、参加した幹部団員は真剣な眼差しで地形の状況確認をしました。今後も、町民の皆さんが安心して暮らせるよう活動を続けていきます。

